

**福島県水田農業産地づくり対策等推進会議
平成30年度 第2回総会議事録**

平成30年10月12日

福島県水田農業産地づくり対策等推進会議
平成30年度第2回総会議事録

日 時：平成30年10月12日(金)午後2:50~
場 所：ふくしま中町会館6階特別会議室

議事の経過及び内容

午後2時50分、遠藤事務局長の司会により、以下の順序に従って総会が進められた。

1. あいさつ

川上会長（JA福島中央会 常務理事）

2. 議長選出

事務局長から、慣例により川上会長が議長を務めることを提案。議場に諮り、議場の承認を得て会長が議長の就任あいさつをし、議事に入った。

3. 議事録署名人及び書記の選任

議長から議事録署名人及び書記の選任について議場に諮ったところ、議長一任に異議無しの意見があり、議事録署名人には福島第一食糧卸協同組合佐藤専務、福島県担い手総合支援協議会河嶋会長、書記にJA福島中央会農業対策部農業振興課一條を選任した。

4. 定足数確認

議長から本総会の定足数について報告を求められ、事務局長より会員団体数11団体のところ、代理出席、委任状出席を含め全員出席により、総会の定足数に達していることを報告した。

5. 報告事項

「報告第1号 水田農業をめぐる情勢等」について議長から、事務局に報告を求めた。

報告事項説明 遠藤事務局長より説明。31年度農林水産省概算要求関係資料は東北農政局福島県拠点沼澤総括農政業務管理官より説明。

議長より議場に意見・質問を求めたところ、福島県米麦事業協同組合小木専務より発言があり、東北農政局福島県拠点沼澤総括農政業務管理官が回答した。

福島県米麦事業協同組合小木専務

31年度農林水産省概算要求関係資料のなかで、問い合わせ先が霞が関になっているが、気が引けるので県拠点にしてほしい。

東北農政局福島県拠点沼澤総括農政業務管理官

今回の資料は、国が作成しているものなので、県拠点に電話もらえれば対応いたします。

議長より議場に意見・質問を求めたが特に無かったため、議事に移った。

6. 議 題

「議案第1号 31年産米にかかる取り組みの基本的考え方(案)」
議長より「議案第1号」について事務局からの議案説明を求めた。

議案説明 遠藤事務局長

議長より議場に意見・質問を求めたところ、全国農業協同組合連合会福島県本部渡部部長より発言があり、大波水田畑作課長が回答した。

全国農業協同組合連合会福島県本部渡部部長

戦略作物の麦について、県産小麦を阿部製粉で製粉し、県内の学校給食のパン、ソフト麺等に使用してもらっていたが、現在は学校給食で県産小麦の使用はなく、実需の関係が成り立っていない。産地を維持するため、阿部製粉が小麦を買い支えてくれているが、それも限界にきており、小麦産地として消えかかっている。震災の風評の影響なのか、質の問題なのか、使っていない原因はわかってない。全農だけの問題ではない。麦、大豆、そばのブロックロ

ローテーションで作っていけたら。県の戦略作物の1つとしてご協力いただきたい。

大波水田畑作課長

現在、麦の消費拡大に係る予算は特になく、やらなければいけないと思っている。今年から、事業として進めている2年3作、1年2作の取り組みは現状そばのみとなっている。ローテーションに麦を組み入れ、中通り、浜通りで推進したい。また、震災前は県産小麦を使ってもらえるよう、学校給食会に推進しに行ったりした。今後、全て県産小麦は難しいと思うので、一部県産に置き換えて使用してもらおうように農産物流通課や教育庁にも推進していきたい。

議長より議場に意見・質問を求めたが特に無かったため、採決に入った。

議長より「議案第1号 31年産米にかかる取り組みの基本的考え方(案)」について挙手による採決を求めたところ、全員賛成のため、議案第1号は可決承認された。

「議案第2号 平成31年産米の地域の合理的な単収の設定(案)」
議長より「議案第2号」について事務局からの議案説明を求めた。

議案説明 大波水田畑作課長

議長より議場に意見・質問を求めたが特になく、挙手による採決を求めたところ全員賛成のため「議案第2号」は可決承認された。

以上、この議事録が正確であることを証明するため、議長及び議事録署名人がここに署名し、押印する。

平成30年10月12日

議長

福島県水田農業産地づくり対策等推進会議 会長

議事録署名人

福島第一食糧卸協同組合 専務理事

議事録署名人

福島県担い手育成総合支援協議会 会長